

徳島文理大学公開授業「減災科学シンポジウム 2020」

減災科学シンポジウムは今年で6回目を迎えることとなりました。これまでは、「南海トラフ巨大地震を迎え撃つには何が必要か」を中心テーマに設定し開催してまいりました。今年、こうした大規模自然災害に加え、世界が直面しているコロナ禍との複合的な危機事象に対して、「我々は今何をすべきか」について考えていきたいと思っております。

大学、行政、医療機関の最前線で活躍中の方々に講師を迎え、with コロナ社会における新たな防災減災・災害医療システムの構築に向けた実践的な学びの機会を提供いたします。

なお、コロナ禍の現状を踏まえ、対面方式とオンライン方式（Zoom）を併用し実施します。なお、対面方式は下記の会場で行いますが、一般の方々のご来場での聴講は50名限定で事前登録（先着順）を条件といたします。

- ・日時 11月4日（水）13：00～16：10
- ・場所 徳島文理大学アカンサスホール
- ・聴講 250名（会場：学生100名・一般50名、オンライン100名）
※会場ではマスク・手消毒の義務化及び分散聴講（定員の1/3以下）を実施。また、適宜、換気を行う。
- ・主題 with コロナ社会における新たな防災減災・災害医療システムの構築を目指して
- ・構成

13：00 開会

13：05 第Ⅰ部 基調講演/実証実験報告

①基調講演（45分）

「減災科学の最新動向とコロナ禍が及ぼす影響」 香川大学地域強靱化研究センター長 金田義行氏

②実証実験報告（20分）（※研究会の概要／止まらない通信網／AI顔認証／放送・通信連携）

「IoT, AIなどを活用した実証実験レポート」 持続可能な地域創造研究会事務局統括 明石昌也氏
株式会社 Skeed 営業統括本部 部長 宮島恒敏氏

(14：10～14：20 休憩・換気)

14：20 第Ⅱ部 トークセッション

①スピーカープレゼン（15分×3＝45分） ※with コロナを前提に

- ・美波町長 影治信良氏→・事前防災と先進技術による未来志向型まちづくり
- ・小松島市長 中山俊雄氏→・危機管理体制の強化と安全・安心なまちづくり
- ・徳島赤十字病院長 後藤哲也氏→・災害医療体制の現状と今後の課題

(15：05～15：15 場面転換・換気)

②意見交換・質疑応答（55分）

- | | |
|----------|-------------------------|
| スピーカー | ・香川大学地域強靱化研究センター長 金田義行氏 |
| | ・小松島市長 中山俊雄氏 |
| | ・美波町長 影治信良氏 |
| | ・徳島赤十字病院長 後藤哲也氏 |
| ファシリテーター | ・徳島文理大学総合政策学教授 床桜英二 |

16：10 閉会

お問い合わせ・申込 徳島文理大学総合政策学部教授 床桜英二

E-mail e.tokozakura@tks.bunri-u.ac.jp phone 0886028515（総合政策学部事務室 10時～16時）